

報道関係者各位

株式会社BCN

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-18-14本郷ダイヤビル6F

TEL 03-4236-5200 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記をお願いします。

BCN総研 井門 由香

<http://ranking.computernews.com/>

年末商戦期のデジタルカメラ店頭市場の動向 コンパクトな高画素モデルが人気集める

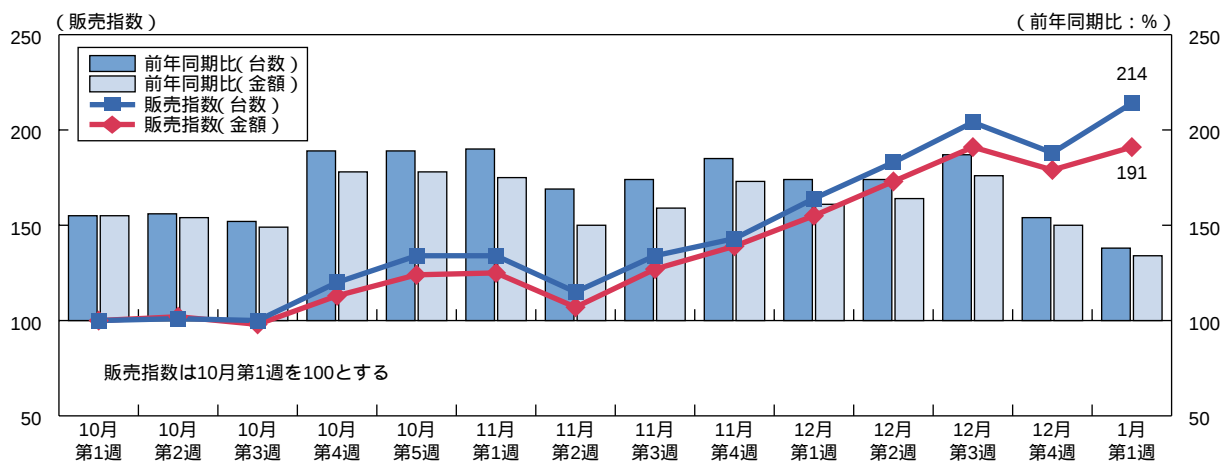
株式会社BCN（本社：東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男）の市場調査部門であるBCN総研は、「BCNランキング」*から年末商戦期におけるデジタルカメラ店頭市場の販売動向をまとめた。2003年はデジタルカメラ市場が大幅に拡大した1年だったが、年末商戦も好調に推移し、前年比で130～190%の水準で推移した。

2003年の年末商戦では、「300万画素クラス」、「400万画素クラス」がボリュームゾーンとなり、高画素化が進んだ。また、11月に発売された、ソニー「Cyber-shot T1」、カシオ「EXILIM ZOOM EX-Z4 シルバー」が人気を集め、ベンダーシェアの勢力図にも変化をもたらした。

* BCN総研は、東名阪のパソコン大手販売会社14社（エイデン、大塚商会、グッドウィル、コンプ100満ボルト、さくらや、上新電機、ソフマップ、九十九電機、T・ZONE DIY、デンコードー、ニノミヤ、ピーシーデポコーポレーション、ビックカメラ、ラオックス=50音順）670店舗（2003年12月現在）の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキングを公表しています。このデータをもとに、PCリテール市場の動向を分析したニュース配信を行っています。

まず10月第1週を100とした販売指数の推移をみると、11月第2週にいったん販売は落ち込んだが、その後は大きく伸び、1月第1週は台数ベースで214、金額ベースで191と、10月第1週の販売の2倍にまで達した（図1）。前年同期比でも、台数、金額ベースともに130～190%を達成。2003年はデジタルカメラ市場が大幅に拡大した1年だったが、年末商戦期もその勢いは衰えることなく、好調に推移した。

図1 デジタルカメラ市場の販売指数と前年同期比推移



	10月第1週	10月第2週	10月第3週	10月第4週	10月第5週	11月第1週	11月第2週	11月第3週	11月第4週	12月第1週	12月第2週	12月第3週	12月第4週	1月第1週
2003年の対象期間	'03/9/29～10/5	10/6～10/12	10/13～10/19	10/20～10/26	10/27～11/2	11/3～11/9	11/10～11/16	11/17～11/23	11/24～11/30	12/1～12/7	12/8～12/14	12/15～12/21	12/22～12/28	12/29～'04/1/4
2002年の対象期間	'02/9/30～10/6	10/7～10/13	10/14～10/20	10/21～10/27	10/28～11/3	11/4～11/10	11/11～11/17	11/18～11/24	11/25～12/1	12/2～12/8	12/9～12/15	12/16～12/22	12/23～12/29	12/30～'03/1/5

売れ筋について前年同期と比べると、2003年12月は「300万画素クラス」が35%、「400万画素クラス」が31%を占め、ボリュームゾーンが「200万画素クラス」から高画素クラスへと移行した（表1）。光学ズーム機能は「3～4倍」が56%から77%にまで高まった。また、重量は「100～200g未満」が62%から79%へ高まるなど、この1年で高画素・高機能化と軽量化が急速に進んだことがわかる。一方平均販売価格は、「3～5万円未満」が5割強、次いで「1～3万円未満」が3割弱と2002年と同様の結果となった。高画素・高機能化とコンパクト化を実現しながら、価格は「3～5万円未満」という値ごろ感が、デジタルカメラの需要増につながっているといえる。

表1 デジタルカメラ市場の売れ筋比較（2002年12月、2003年12月）

	2002年12月		2003年12月	
ベンダーシェア （台数）Top3	・ ソニー	23%	・ ソニー	22%
	・ キヤノン	17%	・ キヤノン	19%
	・ 富士フイルム	12%	・ カシオ	13%
平均販売価格	・ 3～5万円未満	57%	・ 3～5万円未満	56%
	・ 1～3万円未満	22%	・ 1～3万円未満	27%
	・ 5～7万円未満	16%	・ 5～7万円未満	14%
画素数	・ 200万画素クラス	40%	・ 300万画素クラス	35%
	・ 300万画素クラス	32%	・ 400万画素クラス	31%
	・ 400万画素クラス	14%	・ 500万画素クラス	18%
光学ズーム機能	・ 3～4倍未満	56%	・ 3～4倍未満	77%
	・ 無し	26%	・ 無し	14%
	・ 2～3倍未満	12%	・ 2～3倍未満	3%
動画機能	・ 動画機能あり	98%	・ 動画機能あり	98%
記録メディア	・ コンパクトフラッシュ	25%	・ SDカード/MMC	28%
	・ SDカード/MMC	23%	・ メモリースティック	21%
	・ メモリースティック	22%	・ コンパクトフラッシュ	20%
重量（除電池）	・ 100～200g未満	62%	・ 100～200g未満	79%
	・ 200～300g未満	16%	・ ～100g未満	9%
	・ ～100g未満	14%	・ 300g以上	6%

次にベンダーシェア推移をみると、年末商戦前半の10月、11月は、キヤノン優勢で推移していたが、11月第4週以降はソニーが逆転。また、カシオも追い上げ、1月第1週では0.1ポイントながらキヤノンを抜いて2位となるなど、激しいシェア争いが展開された（図2）。これは、11月に発売された新製品の影響が大きい。ソニーは、510万画素でカード型の「Cyber-shot T1」を発売、11月第4週から6週連続でランキング1位を堅持している。またカシオは、今年の春商戦で人気を集めた「EX-Z3」の400万画素モデルとなる「EXILIM ZOOM EX-Z4 シルバー」を発売、12月のランキングでは3位にランクインした（表2）。

より高画素でよりコンパクトなモデルを求めるニーズは高く、今後もこれらの製品が市場を牽引していくと思われる。

図2 デジタルカメラのベンダーシェア（台数ベース）推移

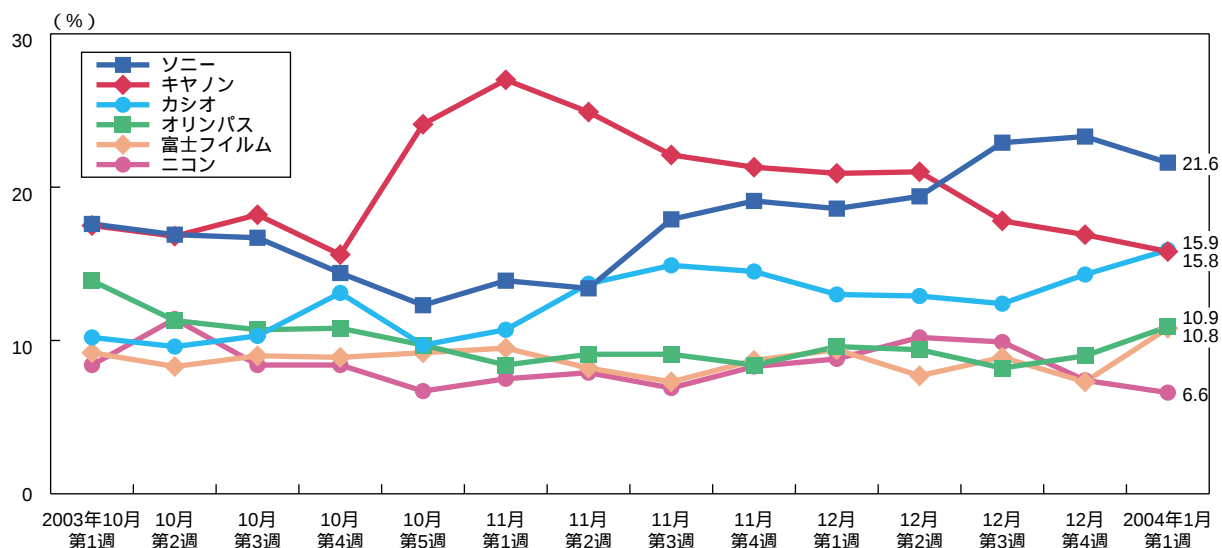


表2 2003年12月の売れ筋トップ10

順位	ベンダー	型番	品名	台数シェア (%)	発売日	画素数	記憶メディア
1	ソニー	DSC-T1	Cyber-shot T1	10.5	2003.11	510万画素	メモリースティック
2	キヤノン	IXY DIGITAL 400	IXY DIGITAL 400	5.8	2003.03	400万画素	コンパクトフラッシュ
3	カシオ	EX-Z4	EXILIM ZOOM EX-Z4 シルバー	5.7	2003.11	400万画素	SDカード/MMC
4	ニコン	COOLPIX3100	COOLPIX3100	4.0	2003.03	320万画素	コンパクトフラッシュ
5	オリンパス	μ-15 DIGITAL	CAMEDIA μ-15 DIGITAL	3.2	2003.10	320万画素	xD-Picture Card
6	ソニー	DSC-P10(S)	Cyber-shot P10 クロムシルバー	2.4	2003.04	510万画素	メモリースティック
7	富士フイルム	FX-F420M	FinePixF420 メタルシルバー	2.4	2003.12	310万画素	xD-Picture Card
8	キヤノン	IXY DIGITAL 30	IXY DIGITAL 30	2.3	2003.05	320万画素	SDメモリーカード
9	カシオ	EX-Z3	EXILIM ZOOM EX-Z3 シルバー	2.3	2003.03	320万画素	SDカード/MMC
10	ニコン	COOLPIX2100 パールシルバー	COOLPIX2100 パールシルバー	2.0	2003.03	200万画素	コンパクトフラッシュ

本リリースについて、今後メールでの配信をご希望の方がいらっしゃれば、対応させていただきます。
お問い合わせ先 : release@bcn.co.jp